

## 『そうけんくん拝見』 株式会社ミホミ

～食品表示作成システム『食品大目付そうけんくん』導入事例紹介～

企画開発部 森京介

取材を受けていただいたのは、静岡県の菓子メーカー「株式会社ミホミ」様です。2018年から「食品大目付そうけんくん（以下、「そうけんくん」）」をお使い頂いています。営業本部・本部長の渡辺様、課長代理の大瀧様にオンラインでお話を伺いました。（※2021年10月取材）

株式会社 ミホミ

営業本部本部長 渡辺様（左）  
営業本部課長代理 大瀧様（右）



## 御社のことを教えてください。

和洋菓子の製造・販売会社です。1953年（昭和28年）6月に設立をして、まもなく70周年の節目を迎えます。当社の起源は日本茶を扱う「中村園」にあり、お茶屋のおもてなしの精神を大切にしています。

## 商品について教えてください。

主力商品は「こっこ」と「安倍川もち」です。「こっこ」は、ふわふわなスポンジ生地にクリーム注入した蒸しケーキです。「安倍川もち」は、ひとくちサイズの黄な粉もち、あんこもちを詰め合わせた、食べきりサイズのお餅です。どちらも素材は細部にまで



安倍川もち

こだわり、水は安倍川の伏流水を使用しています。目指しているのは、深く長く愛される商品です。時代に合ったデザインか、食べやすいボリュームかどうかも気を配り、お客様のニーズにそった、きめ細やかな商品づくりを心掛けています。

## 近況を教えてください。

新型コロナウイルスの影響で人流が減り、駅構内での販売は厳しい状況が続きました。スーパーマーケットや、高速道路のサービスエリアでの販売は回復しつつあります。自家消費の需要にお応えするため、自社通販サイトの運営も強化しています。

お客様の喜ぶ顔を見るのが、この商いの醍醐味です。また旅行を楽しむ人が増えて、お土産を選ぶ楽しい時間が増えて欲しいと願っています。

## 「そうけんくん」導入のきっかけを教えてください。

システム化以前は、表計算ソフトのExcelを使って表示を作成していました。栄養成分の算出は、外部の分析機関に委託していました。どちらも工数・費用が掛かり、担当者により作成した表示や規格書の品質にバラつきも生じていました。これらを改善すべく、2020年の食品表示基準への対応をきっかけに、システム化を検討しました。

## 「そうけんくん」に採用を決めた理由を教えてください。

操作が簡単で直感的な事と、関連法規の改正にもなうバージョンアップが魅力でした。システムとしては価格も手頃で、これなら活用できそうだと感じ、採用を決めました。

## システム化にあたり、大変だったことがあれば教えてください。

運用前の準備段階で、社内外の協力を得るのに苦労しました。たとえば、社内のレシピでは「小麦粉」や「砂糖」と書いてあっても、実際には複数のものを使用しています。システムには正確な情報を登録したかったため、どのメーカーのどの材料なのか、正確に調査しました。

今ではどの製品に、どの原材料が使われているか、すぐに解ります。他部署や取引先様の協力があったおかげで、正確な情報が把握できるようになりました。



こっこアソート



こっこ2個入